

やさしい解説

AIT通信

Accounting Information Technology

2007年(平成19年)10月創刊
第33号 平成22年6月号

6月には
祝日がない。
… ゆうつだ



発行

MCS GROUP

有限会社エーアイティ研究所

〒969-1169

福島県本宮市本宮字小原田 200 番地 2

TEL 0243-33-5538 FAX 0243-33-4467

URL <http://www.motomiya-mcs.jp/ait/>

E-Mail info@motomiya-mcs.jp

新製品 iPad 発売!

5月28日、iPadが日本でも発売されました!アメリカで予想以上の売れ行きをみせたため生産が追いつかず、他国での発売を遅らせることになったほど大人気のiPad。この新しいガジェットは私たちの生活に何をもたらすのでしょうか?

どう活用する?

AIT通信第31号でも取り上げましたが、当初、iPadは、先行して販売されているアマゾン社の電子書籍リーダー「Kindle」の対抗馬として紹介されることが多かったのですが、実際に発売されると、それは一面的な見方で、iPadは私たちの生活を大きく変える可能性がある情報端末であると捉えられるようになりました。

実際に、iPadを教育や医療の現場で活用する動きがあります。

アメリカでは患者の様態をリアルタイムで共有するための端末として実際に利用している病院があるようです。



<アップル社 iPad>

ミニノートか? iPadか?

iPadの使用用途から考えると、ミニノートPCと市場がぶつかります。アメリカの家電製品比較サイト「Retrevo」の調査では、ミニノート購入を考えていた人の3割がミニノートではなくiPadを購入し、4割の人が「結局ミニノートを購入したが心が揺らいだ」と答えたそうです。

意外と安い?高い? データ通信料

iPadは、WiFi(無線LAN)だけを搭載した機種と、携帯電話3G回線にも接続できる機種とがあります。日本でのiPadの販売元であるソフトバンクでは、iPad専用データ定額プランとして月額2,910円(割引適用後)を設定しています。既存のデータ通信プランが5,000円程度であることを考えると、結構、手ごるな料金で利用できるのではないのでしょうか。

新商品 Office 2010 登場!

今月17日に、マイクロソフト社より、オフィスソフトの新バージョン、Office 2010シリーズが発売されます。マイクロソフトOfficeはバージョン2007において大きく変わりましたが、変わり過ぎてやや不評でした。では、Office 2010はどうでしょうか?

ここが変わったOffice 2010

前バージョンのOffice 2007ではリボンと呼ばれる新しいインターフェイスが採用され機能を一新しましたが、このことがユーザーから使いにくい、操作がわからないと不評を買いました。Office 2010では、このリボンをブラッシュアップして使い勝手を向上しています。リボンをカスタマイズして、自分がよく使うボタンを置いたタブを追加したりすることができます。

ソフトを個別に見ていくと、Word 2010ではスクリーンショットを容易に挿入できるようになったり、写真編集ツールが改良されたりしました。

Excel 2010では、スパークラインと呼ばれる新機能が追加されました。スパークラインとは、1つのセル内に折れ線グラフや棒グラフを表示する機能です。数値に密着してグラフを表示できるため、数値をより具体的に認識することが可能になります。

「Office Web Apps」 Web版Office登場!

Office 2010にはWebアプリ版も提供されます。このWebアプリ版は「Office Web Apps」と呼ばれ、ブラウザ上で動作します。しかも無料で使用することができます。ただし、パソコン版と比べて機能が限られているので、パソコン版は購入せずにWebアプリ版ですべてを済ませてしまう、というわけにはいかないようです。

また、マイクロソフト社が提供するWindows Live Skydriveというオンラインストレージサービスを利用することで、インターネット上にファイルを保存することが可能となります。

もし出先で急にワードやエクセルを使用する必要が出てきた時、インターネットへ接続することさえできれば、ブラウザ上でファイルの編集、保存が行えるのです。

編集後記 自分が使うパソコンがよく壊れる、〇〇さんが使う時だけ調子が悪い、なんて経験はありませんか? ある特定の人物が使うと調子が悪くなったり、故障したりすることを「パウリ効果」といいます。これは実際に証明された理論・現象ではなく、物理学者のパウリ博士が、実験が下手でよく機材を壊したことから発生したジョークです。でも現実的に、自分が触れるとよく壊れるんだよな、なんてこと、ありませんか? (本田)